

北海道大学大学院文学研究院応用倫理・応用哲学研究教育センター主催
第22回 応用倫理・応用哲学研究会

自由意志の実験哲学とその最前線

2000年代以降、「実験哲学」と呼ばれる、心理学研究の手法を用いて人々の直観を調べる研究が大きな発展を遂げてきた。とりわけ、決定論と自由意志の両立可能性に関して数多くの実験が行われてきた。自由意志の実験哲学は、私たちの直観について何を示しているのだろうか。また、こうした経験的研究は自由意志をめぐる哲学的議論に対して何を示唆しているのだろうか。本研究会では、自由意志の実験哲学の可能性とその哲学的含意を考える。

発表者

太田 紘史 (新潟大学)
心理学的記述が哲学的論争を左右する
——自由意志の場合

稲荷森 輝一 (北海道大学)
我々の直観は(非)両立論的か？
——実証的研究の含意を考える

コメンテーター

高崎 将平 (東京大学)

本間 宗一郎 (北海道大学)

企画・司会

稲荷森 輝一 本間 宗一郎 近藤 智彦



申込

事前申込が必要です。センターHPまたは下のQRコードから申込フォームにアクセスしてお申し込みください。お申し込みは、3月21日(16時)までをお願いします。

申込は下記HPをご確認ください

応用倫理・
応用哲学研究教育センター



<http://caep-hu.sakura.ne.jp>



問い合わせ先

北海道大学大学院文学研究院
応用倫理・応用哲学研究教育センター
事務局
〒060-0810
札幌市北区北10条西7丁目
Tel: 011-706-4088
Email: caep@let.hokudai.ac.jp
HP: <http://caep-hu.sakura.ne.jp>
Twitter: @caep_hu

3/22(火)
13:00~16:00
Zoom Meetings 開催
定員 300名・無料
【事前申込制】